

「落花生」生育情報（第3報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。

調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

令和元年 9月11日

千葉県農林水産部

生産振興課

1 生育状況

7月上中旬は、平均気温、日照時間ともに平年を下回りましたが、さや実が肥大する8月の天候は、平年と比較して気温は平年より高めに推移し、日照時間は、上旬は多く、下旬は少なく推移しました。

9月2日時点の作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、7月の気温や日照の影響からは回復傾向にあります。平年と比較して、乾燥さや実重は、少なくなっています。また、9月9日に上陸した台風15号により、倒伏や落葉しているほ場が見られます。

表1 作況調査成績（9月2日調査）

品種名	年次	開花期	(さや実数のうち)		生さや実重 (g/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合(%)
			さや実数 (個/m ²)	上さや数 (個/m ²)			
千葉半立 (本年平均は種日 5月31日)	本年	7/17	117	53	383	87	2.0
	前年	7/10	266	92	794	202	0.3
	平年	7/10	226	92	775	185	1.5
ナカテユタカ (本年平均は種日 5月21日)	本年	7/3	255	186	903	294	2.3
	前年	6/29	355	186	1,081	366	3.3
	平年	7/3	305	157	1043	327	4.0
おおまさり (本年平均は種日 5月28日)	本年	7/5	161	30	791	135	0.0
	前年	7/6	172	29	853	164	0.5
	平年	7/2	207	48	1029	206	1.0
千葉P114号 (Qなっつ) (本年平均は種日 6月4日)	本年	7/14	163	105	557	162	0.8
	前年	7/9	281	130	817	256	0.0
	平年	7/9	268	116	878	247	0.2

*本年値は、各品種の調査結果の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取の3地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・君津の3地区、「おおまさり」は印旛・君津の2地区、「千葉P114号」は、千葉、印旛、香取、長生の4地区。

*平年値は、平成24年から30年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。

表2 (参考) 落花生研究室 (八街市) の作況 (本年の値、9月2日調査)

は種日	品種名	開花期	(さや実数のうち)		生さや実重 (g/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合(%)	収穫期 目安(※)
			さや実数 (個/m ²)	上さや数 (個/m ²)				
5月20日 (標播)	千葉半立	7/1 (+1)	246 (80%)	105 (82%)	865 (82%)	205 (67%)	2.0 (+1.3)	10/4 (+1)
	ナカテユタカ	6/29 (+1)	204 (65%)	75 (60%)	565 (58%)	166 (48%)	1.0 (-1.7)	9/17 (+1)
	おおまさり	6/28 (+1)	142 (60%)	18 (29%)	672 (55%)	124 (44%)	0.0 (-0.7)	9/26 (+1)
	千葉 P114 号	6/30 (+2)	215 (75%)	92 (74%)	661 (71%)	207 (64%)	2.0 (+1.7)	9/18 (+2)
6月12日 (晩播)	千葉半立	7/21 (+6)	167 (64%)	44 (69%)	577 (68%)	105 (62%)	2.0 (+2.0)	10/24 (+6)
	ナカテユタカ	7/19 (+5)	175 (64%)	55 (50%)	562 (65%)	131 (53%)	5.0 (+5.0)	10/7 (+5)
	おおまさり	7/19 (+5)	103 (62%)	8 (23%)	499 (49%)	74 (44%)	0.0 (±0.0)	10/17 (+5)
	千葉 P114 号	7/21 (+6)	176 (68%)	65 (64%)	609 (73%)	138 (62%)	2.0 (+2.0)	10/9 (+6)

※落花生研究室の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「千葉 P114 号」は 5,128 株/10a。

「おおまさり」は 2,564 株/10a。カッコ内は平成 28~30 年の平均値対比を示す。

収穫期の目安は、開花期後の標準日数 (全て煎莢用) で算出。

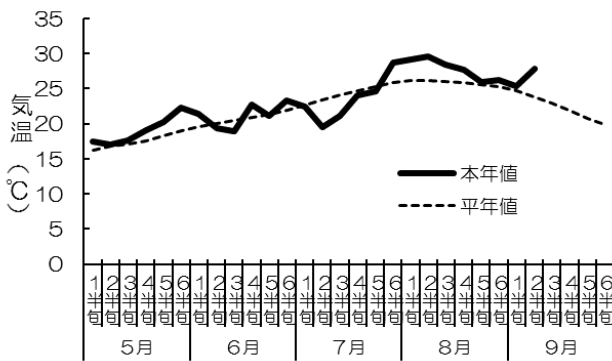


図1 気温の推移 (アメダス、佐倉)

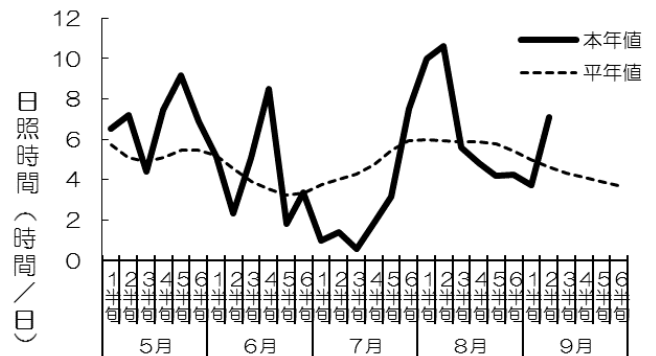


図2 日照時間の推移 (アメダス、佐倉)

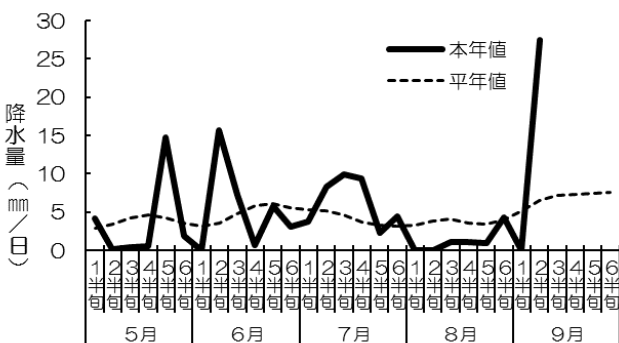


図3 降水量の推移 (アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

今年は、生育や開花期にばらつきが見られますので、収穫時期が近づいてきたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。砂地の地域では収穫期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

表3 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	千葉P114号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用) 90日後 (種子用)	80日後

(2) 適切な乾燥の実施

掘り取った落花生は、5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み(ボッチ積み)やトンネル乾燥を行い、さらに乾燥させます。

〔野積み(ボッチ積み)〕

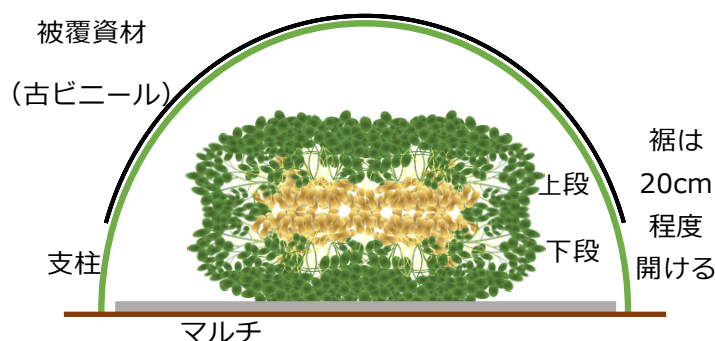
野積みは、湿気がこもらないように管理することが大切です。風通しの良い場所に小さく野積みし、頂部をブルーシートや稲わら等で覆い、雨をしっかりと防ぎましょう。透明ビニールシートは熱がこもりやすく、カビの発生要因となるため、使用しないでください。特に早い時期に収穫した品種は、茎葉が多く蒸れやすいため、注意が必要です。



野積み

〔トンネル乾燥〕

トンネル乾燥は、収穫後3～7日程度地干しを行った後に、降雨の前に雨よけトンネルに入れて乾燥を行う方法です。カビを発生させることなく、野積みによる乾燥と同じ品質の落花生を得ることができます。トンネル内では、地干しした株の莢が内側になるよう上下2段で積み、2～3週間程度乾燥させます。



トンネル乾燥の模式図

詳細は、千葉県ホームページ内のフィールドノート平成30年9月「雨よけトンネルを活用した食味を落とさない落花生の乾燥方法」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-h30/hata-2018-09.html>)を参照してください。

